

森山 茂徳 著

日本近代史のなかの朝鮮

森山 茂徳 著

日本近代史のなかの朝鮮

「保護」か「併合」か
「文化政治」か「武断統治」か

朝鮮をめぐって揺れ動いた日本と、振り回された朝鮮
それぞれの葛藤を双方向から丹念に分析し、
日本と朝鮮にとっての近代を明らかにする労作！

不二出版 定価 7,480円（本体 6,800円+税10%）

首都大学東京名誉教授・森山茂徳の長年にわたる研究を集成。
新規書き下ろし論文2編を含む13編の論文で、

日本と朝鮮にとって近代とはどういう時代であったかを
通史的に明らかにしていく労作！

朝鮮をめぐって揺れ動いた日本と

それに振り回された朝鮮。

それぞれの葛藤を双方向から丹念に分析し、
その実像を鮮やかに描き出す！

「文化政治」か
「保護」か
「併合」か
「武断統治」か

A5判・上製・470ページ
2024年5月刊
定価7,480円（本体6,800円+税10%）
ISBN 978-4-8350-8536-4

不二出版

◎本書の構成（目次より）

まえがき

I 明治政治史における朝鮮問題

II 日清・日露戦間期における日韓関係の一側面

—在日朝鮮人亡命者の処遇問題—

III 朝鮮における日本とベルギー・シンディケート

—その経済的共同行動の挫折—

IV 「保護政治」下の韓国ナショナリズム

—その成立過程をめぐって—

V 「保護」から「併合」へ

—日本の韓国「保護政治」の官僚制化—

VI 植民地期日韓関係の歴史的研究（一九一〇—一九四五年）

VII 日本の朝鮮統治政策の特質

—言説にみる連続と非連続—

VIII 植民地統治への朝鮮人の対応

—政治参加と同化との間—

IX 日本の朝鮮支配と朝鮮民族主義

—一九一〇年代の「朝鮮自治論」を中心として—

X 現地新聞と総督政治

—『京城日報』について—

XI 米軍政下南朝鮮の政軍関係

—戦後日韓関係形成の一侧面—

—日韓会談における韓国の交渉態度—

XII 近代朝鮮における国家形成と個人

—内在的理縛をめざして—

あとがきにかえて

◎関連図書の「案内

第42回沖縄タイムス出版文化賞特別賞 受賞!!

我部 政男 著

日本近代史のなかの沖縄

沖縄を通して、近代日本の実像を明らかにする、近代沖縄史研究家・我部政男の研究を集大成した論文集。

琉球処分以来「後発日本」として近代の歴史を刻み始めた沖縄。政府は、どのように琉球を沖縄にしようとしたのか。

沖縄は、どのように日本になつたのか。

琉球は、どこまで琉球のままだったのか。

一九四五年六月、沖縄の「帝国臣民」は、どのような最期を遂げたのか。
近代沖縄の葛藤を鏡として、国民国家・近代日本の実像が明らかになる。

◎定価 7,700円（本体7,000円+税10%）
◎体裁 A5判・上製・総484ページ

水野直樹 編集・解説 朝鮮治安関係資料集成

全10巻・別冊1

朝鮮総督府警務局、朝鮮軍、高等法院（最高裁判所）、法務局、学務局などが一九二〇年代から一九四五年までに作成した資料を収録。

思想取締りの実態や、自ら経験や意識を書き残すことが難しかった朝鮮民衆の姿を、官憲資料から浮かび上がらせる。

朝鮮近現代史研究、日本近現代史研究、東アジア研究、帝国・植民地主義研究へと実を結んでゆくことを願い刊行するものである。

第一期は一九一〇年代に作成された資料を中心に収録。

第二期は一九三〇年代、日中戦争開戦前までの資料を収録。

第三期は日中戦争開戦以降の資料を中心に収録。

◎定価 3,080,000円（本体280,000円+税10%）
◎体裁 A4判・上製・総約3,328ページ
◎別冊 解説（水野直樹）・総目次・索引集

注文カード	注文日 月 日	帖合・貴店名	書名	注文数
			森山 茂徳 著 <h2>日本近代史のなかの朝鮮</h2> <p>定価 7,480円（本体6,800円+税10%） ISBN 978-4-8350-8536-4 C3021</p>	冊 お名前
		条件：注文扱・返条付 ご担当者様	発行=不二出版	冊